

Ⅲ 学校経営

令和5年度学校経営全体構想

学校教育関連法規、沖縄県、沖縄市教育施策

学校経営の方針

- 職員、保護者、地域、関係機関が連携し、教育目標の具現化を図る
- 教育活動の視点と判断を子どもの成長・幸福に置き、学校・学年・学級経営を行う(組織的な関わり)
- 子どもの夢実現(学び・育ちの実感)のため、「確かな学力の定着」を図り、結果責任を果たす
- 学校課題の改善に向けた教育課程を編成し、保護者や地域と連携し、信頼される学校づくりに努める
- 一人一人に正面から向き合い、「褒めて、認めて、伸ばす」教育(勇気づけ:ボイスシャワー)を心がける(自己肯定感を育てる)
- 保護者や地域と連携し安全教育・防犯教育・食育を推進し、危機回避能力・健康管理能力を養う
- 学校OJT、OFF-JTで職員の資質能力の向上と同僚性を発揮した服務規律と法令遵守に努める

教育目標

- 人間尊重の精神を養い、自主性と創造性豊かな、心身ともにたくましい児童を育成する
- 自ら学ぶ子
- 心豊かな子
- たくましい子

本校の教育課題

- 学力向上(5・6年県到達度平均以下)
- 登校しぶり、不登校、長欠、遅刻等への対応・改善
- 特別支援教育の推進(保護者理解)
- 徒歩登校の推進
- 隣接する中学校との連携や登下校の安心安全対策

学校、児童の実態

- ◎縦割り班で朝の活動
- ◎休み時間は元気に遊ぶ
- △全国学力・学習状況調査県との差:国(-2.0)、算(-9.0)
- 登校しぶり、不登校、長欠、遅刻の児童と保護者への個別指導が必要
- ◇児童数(273名)、職員数(20名)

地域の特色

- 校区は(越來、城前、住吉、嘉間良、吉原)の五自治会
- 歴史と文化遺産のある地域
- 運動会では越來エイサーを演舞
- 支援ボランティア等協力的

【学校経営目標】

- 主体的・対話的で深い学びの視点に立った「授業改善」による学力を保障し、学びの質を高める
- 子どもの生命と安全を保障し、個々のよさと可能性を最大限に伸ばす
- 保護者、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す

【めざす教師像】

- 子どもを深く理解し、褒めて認めて伸ばす教師(勇気づけ:ボイスシャワー)(自己肯定感を育てる)
- 子どもの生命・健康・安全を第一に考え配り得る教師(危機意識の高い教師)
- 授業改善を心がけ、自らを高める教師
- 使命感と教育的愛情を持ち、服務規律を遵守する教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師

【めざす学校像】

- 安心・安全が保証され、子どもの居場所がある学校
- 子どもの学びと成長を保障する学校
- 好ましい人間関係を形成し自分の力が発揮できる学校(自己肯定感の高まり)
- 整理・整頓された、きれいな学校
- 地域の人的・物的資源を生かし、地域とともに創る、地域に開かれた学校

【保護者・地域の願い】

- 思いやりをもち、協力しあえる子
- 「生きる力」の基盤となる知・徳・体のバランスのとれた子
- 基本的生活習慣を身につけた子
- 最後まであきらめず、やり抜く子
- 明るく前向きな子(自己肯定感の高まり)
- 自主的に活動できる子
- 運動場・体育館整備への期待(安心・安全)
- 進んであいさつができる環境づくり

【めざす児童像】

自ら学ぶ子

- 自ら学び、考え、判断し、表現できる子
- 基礎的・基本的な知識・技能を身につけた子
- 進んで活動し、創造力のある子

心豊かな子

- 自他の生命を大切にする子
- 思いやり、助け合う子
- 学校と地域に誇りをもつ子

たくましい子

- 健康な子
- 安全に行動できる子
- 最後までやりぬく、ねばり強い子

【取組事項】

確かな学力

- 自己肯定感の高まり(視点1)
- 学び・育ちの実感(視点2)
- 組織的な関わり(視点3)
- 学習規律の徹底
- 考え・表現する力(校内研修)の育成
- めあて・まとめ・振り返り45分完結授業
- 全国学力(算)、県学調等で平均以上を目指す

豊かな心

- 自他の生命と人権を尊重することができる。
- 互いの「よさ」を認め合うことができる。
- あいさつ・返事・片付けができる。
- 進んで清掃や係活動ができる。
- 基本的生活習慣を確立できる。

健やかな体

- 健康・安全に心がけて行動できる。
- 自分の命は自分で守ることができる。
- 日常の運動・遊び・徒歩登校を通して、体力づくりに励むことができる。

重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善で、学びの質を高め、学習内容を深く理解し、生涯にわたって学び続ける資質・能力を身に付けさせる。
- (1) 日々の授業を充実させ、児童一人一人に生きて働く「知識・技能」の習得
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成
- (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養(自然に水がしみこむように徐々に養い育てること)
- (4) 安全教育・防災教育・徒歩登校を推進し、「自分の命は自分で守る」危険回避能力の育成
- (5) 「授業改善」で授業力、指導力のある教師集団をめざす。(校内OJT、OFF-JTの充実)
- (6) 日々の授業実践に活かせる校内研の充実
- (7) チーム学校づくりと情報・行動・役割連携

指導の努力点(実践項目)

- 1 教育課程の効果的な展開 2 学習指導の工夫・改善・充実 3 道德教育の充実 4 総合的な学習の時間の充実 5 健やかな心と体を育む教育の充実 6 生徒指導の充実 7 キャリア教育の充実 8 特別活動の充実 11 特別支援教育の充実 15 食育の推進 16 学校安全・防災教育の推進 17 人権教育 18 平和教育の充実 19 国際理解教育・外国語教育の推進 20 情報教育の充実 21 環境教育の充実 22 へき地教育の充実 26 学校間連携の推進 27 子供の貧困対策の推進 ※ 番号は、沖縄県 令和5～9年度版「学校教育における指導の努力点」より

「開かれた信頼される学校」をめざし、家庭・地域・関係機関との連携や情報交換を深める

- 1 教育目標及び学校経営の概要説明【保護者・地域・学校運営協議会】…………… 公約
- 2 児童・保護者・地域を対象とした学校評価の実施(学校評価アンケート実施と回答)…………… 評価
- 3 教育活動の積極的な公開【授業参観(日曜参観)、学級懇談会、個人面談、学校行事・学校説明会、実践発表会】(いずれか月1回以上)…………… 公表
- 4 コミュニティスクールの推進(学校運営協議会・学校支援地域本部事業の充実:地域学校協働活動推進員の計画的な活用)
- 5 沖縄市小中連携教育推進指定校(小中合同研修会の開催4回、今年度3年目、発表)
- 6 保・幼・小「学びの基礎力」の育成事業の連携・推進

10 学校・家庭・地域及び幼小中連携

(1) 基本方針

これまでの学校支援地域本部事業を充実させながら、一步進んだコミュニティスクールをめざし、学力向上に係る学習支援活動の充実を図り、「確かな学力を身につけた子ども」、「地域や学校に誇りと自信をもつ子ども」の育成に努める。

そのためには、子ども達に関わる全ての人々と豊かにつながり、「子どもと共に」「保護者と共に」「地域と共に」「職員と共に」を合い言葉に、コミュニティスクール、幼・小・中の連携を自校の特色「強み」として「つながり」のある教育活動を推進する。

① めざす子ども像と、それぞれのつながり(縦のつながりと横のつながり)を明確にした実践をめざす。
(案):「構想図」【教育ジャーナル2014, 12号参考】

② 学校支援地域本部事業を継続、発展させながら、学校、家庭、地域が協働するコミュニティスクールをめざすとともに、「学びの基礎力」を育てる幼・小・中連携の取組を充実させる。

(2) 学校、家庭、地域のつながり

① 協働・共生ネットワークづくり

学校は地域の中にあり、家庭や地域とのネットワークが重要である。そのために、学校や家庭、地域の役割を「家庭でしつけ」「学校で教え」「地域で育てる」を明確にし、学校、家庭、地域が「協力・参加・参画」するパートナーとしての「つながり」を通して協働、共生するネットワークづくりに努める。

② 学校、家庭、地域連携構想図

③ 連携のキーワードとして

○ 学校と家庭は「学び」を基盤として、学習習慣や基本的な生活習慣の定着をめざす。

○ 学校と地域は「活動」を基盤として、地域活動の充実や地域人材の活用を図り、地域ぐるみで子ども達の育ちを支え「豊かな心」の育成をめざす。

○ 家庭と地域は「生活」を基盤として「安心・安全」な教育環境づくりをめざす。

(3) 保・幼・小・中の取組

【小・中連携】

① 平成27年度～

○ 小学校、中学校の課題の共有化と実践事項の確認および共通実践(学力向上推進事項、相互授業参観、交流授業等)

② 令和3～5年度

○ 沖縄市小中連携教育推進指定校(小中合同研修会:年4回開催)令和5年度発表【保・幼・小連携】

① 発達段階や学びの連続性を踏まえた円滑な接続を図る接続カリキュラムの作成。

② 校種間、教師間の互惠性のある取組をねらいとして「子どもの育ちをつなぐ連携の工夫」をテーマに園内研修の充実を図る。

○ 保幼小連携年間計画の作成

○ 接続カリキュラムの実施

○ 計画的な交流活動、連携学習の実践

○ 保幼職員研修会の実施(近隣の保、幼職員参加)

